発行日：令和8年9月3日

# 玉川ダム 見学レポート





～秋田県立大学留学生6名の皆さん ～

Vol.98

【見学日：令和8年9月3日（木）】

本日はあいにくの雨模様でしたが、秋田県立大学に所属する6名の皆さまがダム見学にお越しくださいました。
南米ペルーからいらした留学生の皆さまです。
なんと母国では標高3,000m以上ある高地にお住まいの方もいらっしゃるとのこと。
（日本でいうと飛騨山脈（北アルプス）、赤石山脈（南アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、独立峰である富士山や御嶽山などが標高3,000m以上ある地域として挙げられます）
日本はダムの保有数が中国、アメリカ合衆国、インドに次いで世界第4位。日本の建設技術に高い関心を持って学んでいただけるのは非常に光栄なことです。見学コースではちょうどクレストゲートの点検を行っており、点検の様子もご覧いただくことができました。
皆さま本日はお足元の悪い中にもかかわらず、お越しいただきありがとうございました。

## 洪水調節機能についてご説明します



## 貴重なゲート点検の様子



## 取水設備が持つ役割と下流域への恩恵



## ダム監査廊内の計測計器について



**皆さんご参加頂き ありがとうございました！**